

パート1 「文化と社会 - 一緒に生きること」	パート3 「仕事と経済」
<p>第1章:あなた そして他の人々 あなたはユニークです アイデンティティーはどうやって作られるか? 多様なアイデンティティー 共通性の内側と外側 役割と期待 性別役割分業 役割の衝突とプレッシャー</p> <p>第2章:社会 人間がともに求めるとき 人間と社会 ソーシャライズ 一生をかけるプロセス 規範と制裁 規範は変化する 家族 社会で最も大切な固体?</p> <p>第3章:ノルウェーの多様性 典型的なノルウェー人? ノルウェー人って誰? ノルウェー人とサメ人 ノルウェー キリスト教の国? 宗教の自由 多様なノルウェー</p> <p>第4章:ノルウェーが世界に出会う 文化 それって何? サブカルチャー 文化の違いを作り出すもの 異文化を理解すること 偏見とステレオタイプ あらかじめ決めつけてしまうこと 寛容さ 境界が行きかう場所 ノルウェーの移民 統合 社会に参加すること ノルウェーの統合政策は成功しているか?</p> <p>第5章:ノルウェーの犯罪 犯罪統計に隠れる人間たち 様々なタイプの法律違反 どうして、犯罪者になる人がいるのか? 罰則について 罰金から終身刑まで 公平な罰則とは? 罰則と予防 司法</p>	<p>第11章:もうすぐ大人 個人的な経済 若いことはお金がかかる 消費と節約 働く若者 賃金 ある金額までは無税 ローンと奨学金 消費者の権利 請求書を払う意志がない、それとも払う能力がある? 消費の作法</p> <p>第12章:価値ある賃金 労働市場 定収入それとも歩合制? 賃金格差を生み出すものは何? 労働における2つの機関 賃金協定 たんなる賃金以上のもの 生活水準と幸福の研究 ノルウェー一家の毎月の家計</p> <p>第13章:仕事と失業 どうして私たちは働くのか? 仕事を求める人たち 長期失業者たち 長期失業になる理由 将来の仕事はどこに見つけられる?</p> <p>第14章:労働環境 労働法 良い労働環境 包括的な仕事生活 労働モラル 法的に働くか、違法に働くか?</p> <p>第15章:自分の会社をスタートさせる 6人の「楽しいサーモン」 若い会社 やるか、やらないか... &lt;大工をすること&gt;事業計画 予算を作る 経済援助の制度 1年後...決算をする 会社は「存在意義」があるか?</p>
パート2 「政治と民主主義」	パート4 「グローバルな挑戦」
<p>第6章:民主主義 統治法と生き方 実験的な「波」 民主主義の特徴 独裁政治の特徴 間接・直接民主主義 政治と個人の生活 政治的な争い 健全ななし 若者と民主主義 傷つきやすい民主主義</p> <p>第7章:選挙、選挙民、選ばれること トルルスとトリーネにとって選挙の苦痛 選挙権 ソファーを選ぶ者たち 確固とした場所 それともリストをうめるだけ? 私はどの政党を選ぶかな?</p> <p>第8章:影響力を及ぼそう 影響力までの様々な方法 関心を抱く団体へ働きかける 政治的なアクション マスメディアを使うこと</p> <p>第9章:国民の選挙 国会の議席 国会 ノルウェーの国家的集会 国会の役割 政府の役割 国会と政府の関係 首相と閣僚 サメ議会 市町村地方議会と県議会</p> <p>第10章:ノルウェーの福祉国家 人間の発展のための目標 ただ福祉? 福祉国家 政治と市場 混合経済 経済政策 黒い黄金と緑の森 福祉国家の将来</p>	<p>第16章:世界の社会 世界の社会から、世界社会へ グローバリゼーション 国境を越える動き グローバリゼーションの良い面、悪い面 世界の政府と国家 権力が行使される場所 統治のない世界?</p> <p>第17章:地球に平和? サラエボのロミオとジュリエット より平和な世界へ向かっている? 戦争 政治が届かない時にやってくる 市民戦争 「テロ戦争」 テロに対する戦争 テロの理由 テロとの闘い 武器のバランス? 安全に対する新しい見方 紛争に対する記述</p> <p>第18章:国際協力 戦争や暴動だけではなく 世界の機関 国連 平和に向けて国連とともに 国連と人権 EU 貿易協定から欧州連合まで EUの目的 EUの統治機関 ノルウェーとEU ノルウェー クラスで最も親切な存在?</p> <p>第19章:貧困と環境 貧困と富裕 北と南 貧困の理由 発展を助けること 借金の棒引き ビジネスと発展 援助よりもビジネス? たったひとつの惑星 なぜ私たちは賛成できないのか? 意識した日々の選択</p>